

[寄稿]

ICBTT2012 参加報告(学生報告1)

ICBTT2012 感想

都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス
ものづくり工学科ロボット工学コース4年
加藤航甫

今回,ICBTT2012 に参加させていただきました.国際会議どころか学会そのものが初めての自分にとって,英語での発表を学生時代に経験できるという貴重で幸運な体験となりました.

今回私は,2足歩行遊具の安定条件解析について発表させて頂きました.今回の発表にあたって不安だったことは多々ありましたが,一番の課題は英語での発表と質疑応答でした.中学高専の授業でしか英語に触れていなかったのも,自分の英語が通じるのか,相手の英語が聞き取れるのかわからないまま発表準備をしました.現地に入り,現地の方が言っている言葉を聞き取ることができず,なんの自信もありませんでした.しかし Prof.Wilson をはじめとする先生方が,英語初級者の私にもわかりやすい言葉で質問してくれたおかげで,私でも質問の意味を理解することができました.ただ,言いたいことが英語にできず結局質問には答えることが出来ませんでした.自分の語彙力のなさを痛感しました.次回,海外に行く機会がいつになるかはわかりませんが,それまでに,ネイティブの英語を聞き取る能力を身につけること,聞かれたことに答えられる語彙を身につけることが必要だと感じました.

テクニカルツアーでは,ビーミッシュ屋外博物館を見学しました.そこには,炭鉱時代の機械遺産や,古い町並みがたくさん保存されていました.古い路面電車や,蒸気機関で動くメリーゴーランドが動いていて,実際に乗ることも出来ました.

最も驚いたのは,スティーブンスンの蒸気機関車のレプリカを見せて頂いたことで



す.こういった機会でなくては見る事が出来ない様々な物を見せて頂き,Newcastleの街並みを見たときにも感じたことですが,イギリスの人々は古くからある物に愛着を持って本当に大事に残そうとしているのだと感銘を受けました.日本にも昔からある物を大切に使うような習慣や,考え方があはずなのに,なぜ身近に昔ながらの機械や,町並みが残っていないのだろうと不思議に思いました.今,残っているものが取り壊されてしまう前に,私たちの世代がその価値を残していくために積極的に行動していかなければならないのではないかと感じました.

最後に,ICBTT2012に参加する中でお世話になりました先生方,本当にありがとうございました.沢山の質問を頂くことができ,非常に貴重な経験となりました.また,テクニカルツア一等を通して,さまざまな歴史的知識を学ぶことが出来ました.これをきっかけとして一層勉学に励みより教養を身に着け,また先生方の前に立てる日を楽しみにしております.ありがとうございました.